

郷土の埋もれた歴史を訪ねて

内部の各町には古くから伝えられ、引き継がれてきた言い伝えや遺跡が数多く残されていますが、急速な社会の変化とともに埋もれ、忘れ去られようとしています。平成の初めごろまで活動した内部郷土史研究会が残した資料の中からいくつか紹介します。

采女町

【乳母（ちちぼ）さんの思い出と遺跡】

采女の里から南小松に抜ける山間の坂道にさしかかる左手に真新しい、小さな祠が祀られ、案内板が立てられています。古くから「普賢さん」と呼ばれる遺跡です。

少し前まではここから一〇〇m程登った右手の雑木林の中にありました。小枝にのびのびと生える坊主の形がぶら下がっている、その下に野面石が祭られていたのが「普賢さん」で、村人は「乳母（ちちぼ）さん」と呼んでいました。

昔は今と違って、産後のお母さんが母乳の出が悪いと、家族の方がお乳が授かりますようにと、布切れで作った小さな人形を小枝に吊し、普賢さんにお供え物をして祈りする姿が、時折り見受けられそうです。

子供の頃、お供えの煎餅などをそと戴くのが、僅かなものではあったが子供心には楽しい思い出の一つであったと土地の人の話が伝えられています。



波木町

【由緒深き常夜燈】



貝家町の医療モールを通り過ぎて暫く進むと、波木町の入口に差しかかります。道が二つに大きく分かれて、かつては「右八王子左川島」と記した道標が建てられていました。道を左にとって町の中央を縦走すれば、川島を経て孤野湯の山方面に通じる、「鈴鹿川島道」と呼ばれていた、古くからの街道です。

昔はこの三叉路の左側に、凡そ二〇〇平方メートルの広場があつて、中央に一本のくろがねもちの大木が大きく枝を伸ばし、村人の憩いの場であり、子供の遊び場となっていました。その傍らに奉神と記せられた常夜燈が建てられていて、裏面には「文化十二丙子秋八月成」と刻まれていました。今より二〇三年前に建てられたものです。

古老の話によると、この常夜燈は、当初村の沖田の中央を流れる足見川にかかる日の宮の裏参道に通じる宮橋の左岸にありました。村人が毎夜各戸順番で、細い餅道を夕方お燈明を捧げて、五穀豊穡と家内の安泰を、伊勢神宮に向けて両手を合せてお祈りし、併せて一日と十五日には、氏神さまの日の宮へお参りするの、村人の心のともしびであったといわれています。

その常夜燈も、昭和十年に河川改修により、先の広場に移転され、更に昭和十九年十二月七日の南海大地震の際に倒壊したので、現在の地に再び移転し、町のシンボルの一つとなっています。

裏もご覧ください→

今年度表彰をお受けになった方々

おめでとうございます

長年にわたる地域へのご貢献に感謝し、お礼申し上げます。

日付	式典・表彰元	表彰区分	表彰を受けた方
平成30年 3月18日	自治体消防制度 70 周年第 69 回三重県消防大会	三重県知事表彰精勤賞	中川 康さん（貝家町）
6月1日	平成 30 年度都市緑化関係功労者表彰		森 正巳さん（東原町）
7月12日	四日市地区防犯協会 四日市南警察署	表彰状 (安心安全なまちづくりに貢献)	グリーンパトロール（采女が丘）
7月19日	平成 30 年度四日市市民生委員児童委員大会	四日市市社会福祉協議会会長表彰	田中 秀和さん（采女町西部担当） 名倉 克司さん（采女町中部・南部Ⅱ） 前岨 文子さん（采女町中部Ⅱ） 飯村 壽子さん（中堀町Ⅱ）
10月5日	生涯スポーツ功労者表彰(スポーツ庁・於東京)	生涯スポーツ功労者表彰	中村 文子さん（采女町北部）
10月7日	第 49 回四日市市民スポーツフェスタ	スポーツ有功賞	森下 進さん（東原町）
10月27日	平成 30 年度四日市市社会福祉大会	会長表彰 四日市市点訳友の会ボランティア活動で貢献	北村 公子さん（波木が丘町）
11月9日	平成 30 年度四日市市自治会長大会	永年勤続自治会長表彰 15 年表彰	内部地区連合自治会会長 伊藤 頼夫さん（波木町）
12月1日	四日市市環境フェア	四日市市環境活動賞	グリーンパトロール（采女が丘）
12月18日	平成 30 年度三重県医療保健及び子ども・福祉関係功労者感謝のつどい	三重県福祉関係功労表彰（県知事表彰） ボランティア功労 民生委員児童委員功労	田中 英子さん（貝家町） 河村 照美さん（高塚町）
12月26日	四日市南警察署	感謝状 (地域警察業務に理解)	グリーンパトロール（采女が丘）
平成31年 1月13日	消防出初式	四日市市長感謝状 (消防団退職者感謝状)	田中 謙太郎さん（小古曾町）
1月26日	第 56 回四日市市高齢者福祉大会	四日市市長表彰	藤田 弘さん（小古曾町） 田中 寛さん（波木が丘町） 伊藤 勉さん（采女が丘）

10月~ 市民センターロビーに「写真コーナー」



内部地区市民センターロビーの一角に10月中旬から大判サイズの写真が展示され、訪れた人の目を楽しませています。内部地区の11名の愛好家からなる「うつべ写真サークル」(代表:田中耕太郎氏)の皆さんの作品です。市民センターにお出かけの際にはぜひご覧ください。

1/25 女性のための1日防災講座

今後予測される災害に備え、女性の視点を災害に強いまちづくりに反映させるために、今年度は、地域活性化事業(館長予算)として、女性のための1日防災講座を4回シリーズで開催しました。



- 8/2第1回目「防災ずきんをつくろう！」
- 10/26第2回目「ダンボールトイレに新聞スリッパ作り」
- 1/25第3回目「被災時の食を学ぼう防災昼食会」
- 3/15第4回目「避難所での衛生面と健康管理について」

2/3 采女が丘交流サロン



昨年7月から「采女が丘交流サロン」が毎月1回、第1金曜日にコミュニティセンターで行われています。血圧測定や健康相談、介護予防ストレッチ体操、休憩タイムでは、コーヒー、紅茶、ジュース、お茶など、ボーリング、輪投げなどのゲームやハンドベルの演奏、笑いヨガ、百歳体操、懐かしい歌、などなど多彩な内容です。

2/3 新しい冬のスポーツ「鬼活」

昨年に初めて行って、今年で2回目となる内部地区社協青少年育成部主催の冬のイベント「鬼活」が内部小学校でありました。鬼ごっこの「追う」「逃げる」をベースに、「コート内で」「時間内に」「チームで力を合わせて」「相手の宝を取り合う」スポーツです。



子どもたちの感想「チョー面白い」

10/21~2/24 24年間続く 心のこもったお弁当

平成8年以来休むことなく続けられてきている「あったか訪問」。毎年秋から冬にかけて、内部地区の70歳以上の一人暮らしの皆さんに心のこもったお弁当を届けています。今年の第1回は10/21、第2回12/16、第3回は2/24に行われました。



内部地区社会福祉協議会が主管するこの行事は、献立の立案から、試食、材料手配、調理までをボランティア虹の会が行っています。また毎年調理の手伝いと盛り付けに内部中学校の生徒がボランティアで参加し、お弁当は自治会の民生委員が配達しています。多くの人の温かい気持ちが一つになって届けられています。

11月~ 通学路危険箇所・防犯マップ



内部中学校PTAではこのほど通学路の危険箇所マップと防犯マップを更新して生徒に配布しました。今までのものが古くなっていることから大幅に見直すことになり、PTAの役員ら20名が半年かけて通学路を歩いて確認し、昨年11月に完成させました。危険箇所マップには31か所が、防犯マップには23か所が地図の上にマークされ、それぞれに写真と危険理由がつけられ、分かりやすいマップとなっています。このマップを地域住民の皆さんにも知っていただき、通学する子どもたちに気を配るとともに、自身の安心・安全に役立てていただきたいと思います。(マップは内部地区ホームページから見るができます)

2/6 7,296名の署名提出

内部地区の中心部を流れる内部川の川底は年々浅くなっていて、洪水の危険性が増しています。内部川の川底浚渫工事の早期実施に向けて、国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所に出向き、四日市市都市整備部とともに内部地区連合伊藤会長が陳情書と7,296名の署名を提出し、署名活動に至った説明と地元住民の浚渫工事に対する強い思いを陳情しました。



3/1 新天地で「すいせん」が開花



「すいせんを育てる会」の皆さんの手で内部小学校前の内部川堤防に植えられてきたすいせんは撤去されることになり、内部小学校、内部東小学校・内部中学校・内部幼稚園・采女が丘・北小松・内部地区市民センターに移植されました。その数5,000球。これらが2月に入り開花し始めました。移植して初年度の為か花数は少ないですが来年、再来年が楽しみです。

3/2 各地からうつべの史跡巡りウォーキング

平成27年度に地域活動事業で作成した「内部ふるさと探訪マップ」を基本に、近畿日本鉄道との協働により塩浜駅から内部地区内を散策し内部駅に至るウォーキングがあり、奈良・愛知など各地から約500人の参加者が内部地区内の史跡を巡って歩きました。



市民センターではこにゅうどうくんの出迎えや四日市あすなろう鉄道開業762日記念のマグネットの配布、内部地区婦人会による郷土めしの振る舞いもありました。

